

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

経営学部のススメ

世界へ、未来へ——。



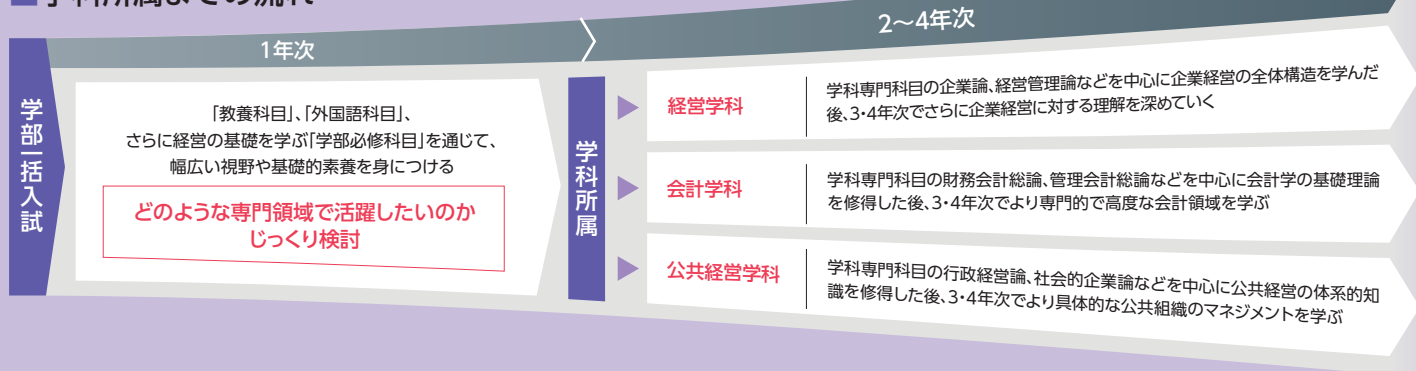
ビジネスリーダーを目指すあなたの「想い」に応える学部

1年次は経営の基礎を幅広く学び、2年次から経営学科、会計学科、公共経営学科の3つに分かれて学びます。

経営学科では主として営利企業のマネジメントについて、会計学科では会計の利害関係者に役立つ会計情報について、公共経営学科では行政組織や非営利組織のマネジメントやスポーツマネジメントについて学びます。

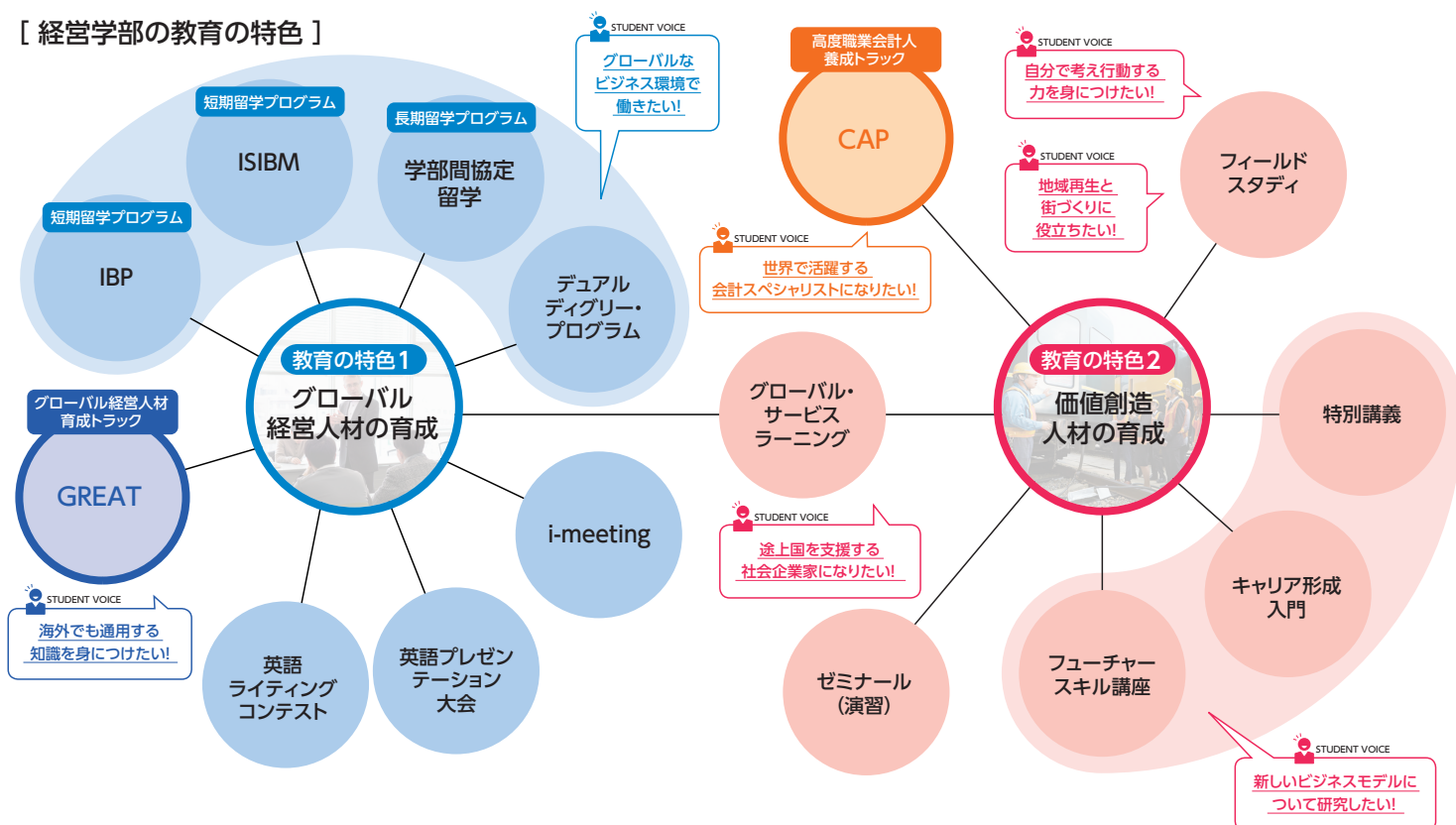
1年次で学んだことを加味して学科を選択することで、自分が興味をもった専門領域を徹底的に学ぶことができます。

学科所属までの流れ



「グローバル経営人材」「価値創造人材」の育成

〔経営学部の教育の特色〕



グローバル社会に通用する力を身に付けよう



GREAT (Global Resources English Applied Track)

英語スキルと専門知識の融合

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネス分野での活躍をめざす学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養や専門知識を学びます。3年次からは経営学研究科との共同設置科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。また、海外留学などを支援することを目的とした「GREAT 奨学金」の制度も設けています。

※1 TOEIC®や英語4技能資格・検定試験のスコアを参考に選出された約100名が対象になります。所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。

※2 図中のIBP、ISIBM、長期留学は応募可能な海外留学の時期を示します。なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。



実践的な英語スキル

英語による専門知識

1年次 [Academic Reading] [Academic Writing I] の他、[Study Skills] ではGREAT履修・海外留学に必要な英語スキルの獲得と将来のキャリアを見据えたポートフォリオ作りに取り組みます。

TOEFL & IELTS 強化科目 (TOEFL Preparation, English Exams など) ※GREAT対象者以外も履修可能

2年次 [Global Issues] などの科目においてグローバル社会に通用する国際教養を英語で学びます。[English for Business Studies] では英語を使って経営学のテーマを議論します。

3年次 [Academic Writing II] では、さらに高度な英語力獲得とともに、APAスタイルを用いてリサーチリテラシーを高めます。

4年次 [Fundamentals of Management] [Strategic Business Communication] などの科目において英語による専門知識の基盤作りを行います。

1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識をさらに発展させ、「ビジネスコミュニケーション科目群」の科目においてビジネスの専門分野に必要な英語スキルを学びます。

より専門的な経営・会計・公共経営学科専門科目を含む幅広い授業科目を、英語で学びます。

経営学研究科との共同設置科目

闘える「会計力」を身に付けよう

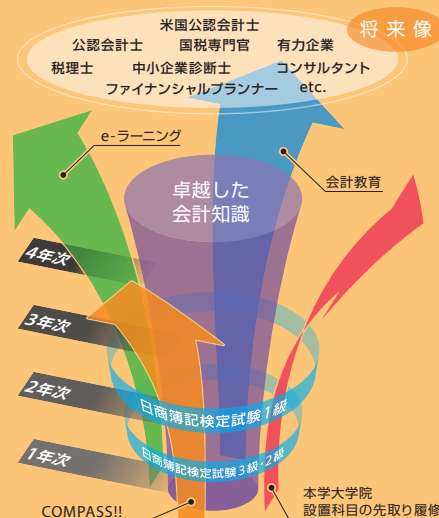


CAP (Course of Accounting Profession)

豊富なサポート体制で会計のプロを目指す

高度職業会計人養成トラック「CAP」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士などの資格試験の在学中合格を目指す学生や、卒業後に卓越した会計の知識とスキルを武器にコンサルタントや有力企業で活躍しようとする学生のためのカリキュラムです。すでに簿記検定の資格を取得しているか否かにかかわらず、ビジネスに必須となる会計の知識とスキルを身に付けたいという学生であれば誰でも参加できます。

CAP専用クラスは1年次から設置されており、より早くより体系的に会計の専門知識とスキルを学べます。また、個人のペースで学習できるe-ラーニングや、学習上の悩みなどを個別に相談できるCOMPASS!!を通じて、学生1人ひとりの目標達成をきめ細かくサポートする体制が整えられています。さらに、本学経営学研究科および会計専門職研究科の大学院授業を先取り履修することで、資格取得のみならず、実際に働き始めてから役立つ知識とスキルを理論的・実践的に学ぶこともできます。



グローバル経営人材の育成



IBP (International Business Program)

世界への初めの一步！世界への視野を広げるきっかけに！

IBPは、経営学部独自の海外短期留学を行う実習科目で、2002年度から課外の海外語学研修としてスタートし、これまでに750名以上の経営学部生が参加しています。実習先では、英語研修、現地企業訪問、ホームステイなどを通じ日本と異なる社会や文化を体験します。英語の学習だけでなく、相手国の生活や文化、習慣を身近に体験することで国際理解を深めるねらいがあります。

正規の科目として、単位付与(計3単位)しています。生の英語に触れる機会として、また半年や1年といった海外留学を希望する方にはその足がかりとして積極的に参加することを期待しています。

※2020年度、2021年度IBP A/Bおよび2022年度IBP Aは新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。
(2022年度IBP Bは同年夏に募集の可否を決定します。)

短期留学プログラム

実習先 ▶ Portland State University
(アメリカ オレゴン州・ポートランド)
San Jose State University
(アメリカ カリフォルニア州・サンノゼ)

日 程 ▶ ① IBP A (夏期) 8・9月(30日前後)
② IBP B (春期) 2・3月(30日前後)

ISIBM (International Summer Institute for Business Management)

カナダで学ぶビジネスマネジメントプログラム

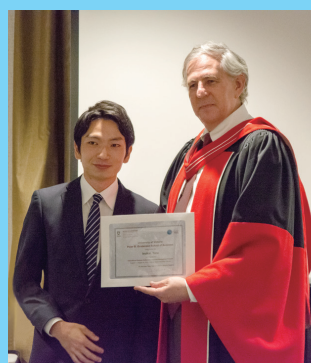
経営学部の協定校ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部(カナダ・ヴィクトリア)にて行われる3週間のビジネスマネジメントプログラムです。経験豊かな教授陣による授業やゲストスピーカーによる講義、企業訪問、パーティー、アクティビティなどが組み込まれています。プログラム修了後、最大6単位まで卒業要件単位として認定されます。参加者の中から条件を満たした学生には補助金が支給されます。(応募者多数の場合は選考あり)

実習先 ▶ University of Victoria (カナダ ブリティッシュコロンビア州・ヴィクトリア)
日 程 ▶ 8月(21日間)



※2020年度、2021年度ISIBMは新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

短期留学プログラム



学部間協定留学

海外の大学で修得した単位の一部認定も！

明治大学経営学部と交換留学の協定を締結している以下の協定校に、経営学部生が交換留学生として留学するプログラムです(学位取得を目的とした留学ではありません)。半期または通年で留学しても、諸条件を満たせば4年間で卒業することも可能です。学費は本学へ納入する必要がありますが、留学先の授業料は免除されます。※2022年3月現在

■ ヴィクトリア大学 [グスタフソン・ビジネス学部]
(カナダ・ヴィクトリア)

■ カーディフ大学 [カーディフビジネススクール]
(英国・ウェールズ)

■ Excelia
(フランス・ラロシェル)

■ IPAG ビジネススクール
(フランス・パリ/ニース)

■ IE 大学
(スペイン・セゴビア/マドリッド)

■ ソウル国立大学 [経営学部]
(韓国・ソウル)

■ 対外経済貿易大学 [国際商学院]
(中国・北京)

■ 香港城市大学 [商学院]
(中国・香港特別行政区)

■ オスナブリュック応用科学大学 [経営管理・社会科学部]
(ドイツ・オスナブリュック)

■ ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール
(オランダ・ロッテルダム)

■ 東フィンランド大学 [社会科学・ビジネス学部]
(フィンランド・ヨエンスー/クオピオ)

■ シーナカリンウィロート大学 [経済学部] [サステナビリティ研究国際学部]
(タイ・バンコク)

■ ノースカロライナ大学シャーロット校 ベルクカレッジ・オブ・ビジネス
(アメリカ・シャーロット)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部地域はオンラインによる留学となっていますが、2021年度秋学期より、渡航しての留学派遣を開始しています。

長期留学プログラム

- ① 7月選考試験：ソウル国立大学のみ
(翌年の3月から留学開始)
- ② 11月選考試験：ソウル国立大学以外の12大学13学部
(翌年の8月または9月から留学開始)

Be Active!! ～海外留学単位認定制度～

学生の皆さんに海外留学を強く勧めています。海外の協定校・認定校で正規授業を履修し、単位を修得した場合、留学先での勉強内容および修得した単位数を積極的に認定する海外留学単位認定制度を設けています。

デュアルディグリー・プログラム

日本と海外の学位を両方取得できる、 計5年間のプログラム

明治大学経営学部のデュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2年半、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2年半、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方取得できるプログラムです。学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、さらに、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部では約1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップに参加します。2017年度からヴィクトリア大学への派遣を開始し、2022年度までに計6名の学生を派遣予定です。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一時期オンラインによる留学となっていましたが、2021年度秋学期より、渡航しての留学派遣を開始しています。

有償インターンシップ

有償インターンシップとは、在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムです。ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部に入学後、主に夏休み(2回)と1学期間(1回)の有償インターンシップに参加します。



i-meeting (アイ・ミーティング)

キャンパス内から異文化交流! 留学生の友達を増やそう!

i-meeting は、経営学部が行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めることをねらいとしています。



英語運用能力向上プログラム

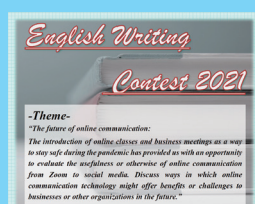
英語プレゼンテーション大会

英語によるプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムで、個人、グループを問わず応募できます。テーマに沿って研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金を授与します。



英語ライティングコンテスト

グローバル社会においては、「話す」英語によるコミュニケーションと同様、「書く」英語によるコミュニケーションも必要です。英語で文章が書けること、自分の考えを英語でまとめ、説得力のある内容を発信できることが求められます。本コンテストは、800語程度の英語エッセイで競うことにより「書く」英語力の向上をめざします。



外国語検定試験による単位認定

外国語検定試験による単位認定制度を導入しています。右の表に示す各検定試験の最終到達スコアに応じて、最大4単位まで「認定科目(外国語科目)」として認定され、卒業要件単位に算入されます。

認定単位数	各検定試験の取得スコア			
	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS™
1	680 - 725	490 - 509	57 - 63	4.5
2	730 - 775	510 - 519	64 - 67	5.0
3	780 - 825	520 - 529	68 - 70	—
4	830 -	530 -	71 -	5.5 -

※IELTSを利用した単位認定は、認定単位数が1単位、2単位、4単位の場合に限りです。 ※スコアの証明書は申請時から遡って2年以内に受験したものに限りです。



フィールドスタディ

講義だけじゃない！「現場を体感」し、「現場で学ぶ」体験型授業

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク（現地調査）を通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。

まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深め、たうで、「事前学習」で調査対象について学生自らが調べ、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成します。調査対象は、ローカルからグローバルまで、企業、自治体、NPO 法人、特定地域の住民など、科目により様々です。

本科目を履修し修了すると2単位が付与されます。

2022年度フィールドスタディテーマ（予定）

履修 開始年次	科目名	開講	テーマ	主な実習地（予定）
1年～	フィールドスタディ【A】	春	人と場所をつなぎ、まちをデザインする取り組みの実践を学ぶ：岡山市奉還町の事例から	岡山県（岡山市）
			地域の潜在力を活かしたまちづくり：尾道市を中心に	広島県（尾道市）
	フィールドスタディ【B】	秋	企業のビジネスと持続可能性に学ぶ	首都圏近郊（2回程度実施）
			自らなりわいを創る	長野県（上田市）または大分県（別府市）
2年～	フィールドスタディ【C】	春	染織・和菓子を通して考える、伝統文化の現在と未来	首都圏近郊（2回程度実施）
			経営の多様性について	国内
			地方都市の現場	大分県（別府市、佐伯市）
	フィールドスタディ【D】	秋	地域企業・産業調査	福島県（会津若松市）、宮城県（白石市）
			様々な組織体によるCSR活動	関西方面
			住民主導のまちづくり体験	兵庫県（丹波篠山市）
			EU企業の経営の多様性	後日決定
			市場ニーズ探索による新規事業提案	国内
			地域企業・産業調査	京都府（京都市）、滋賀県（大津市）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、実習内容を変更する場合があります。

※2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により海外フィールドスタディを中止し、開講可能な一部国内フィールドスタディのみ実施しました。

※テーマ・実習先は年度により異なります。

フィールドスタディ（実績）



「地域の潜在力を活かしたまちづくり」

実習先：広島県／尾道 ※写真はNPO法人尾道空き家再生プロジェクト、再生物件第一号通称「尾道ガウディハウス」



「EU企業のマネジメント」

実習先：欧州諸国

※写真は2019年度実施の様子

グローバル・サービスラーニング（Global Service Learning）

海外で社会貢献活動を体験しよう！ ボランティア体験から生きた知識を学ぶ

グローバル・サービスラーニング（GSL）は、経営学部独自の海外サービスラーニング科目です。サービスラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」（サービス）活動を通じて課題解決のための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣の中でボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。

本科目は年2講座開講しており、GSLA（春学期開講）は夏休み期間中に、GSLB（秋学期開講）は春休み期間中に、海外において約2週間の実習を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与されます。

※2020年度、2021年度GSLA/Bおよび2022年度GSLAは新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。（2022年度GSLBは同年夏に募集の可否を決定します。）

※実習先は年度により異なります。



「グローバル・サービスラーニングB」

実習先：フィリピン（セブ島） ※写真は2020年2月実施の様子

フューチャースキル講座（経営総合講義A・B）

実践的な課題で未来を掴む

フューチャースキル講座は、PBL（Project Based Learning）型の実践授業です。授業では、実際のビジネスの現場で直面するような問題が課題として取り扱われます。受講生はチームに分かれて、課題解決の方策を考え、調べ、検討し、その結果をまとめ、プレゼンテーションします。ビジネス・シーンをリアルに体験できる授業です。

春学期開講の「経営総合講義A」では、企業の第一線で活躍するビジネスパーソンをお招きし、その業界が直面する課題に取り組みます。秋学期開講の「経営総合講義B」では、経営学の理論を使ったより発展的な課題解決型のグループワークを行います。



■協力企業と課題（2021年度・経営総合講義A・B）

- 時事通信社（春学期）「アマチュアスポーツデータのビジネス化」
- 時事通信社（秋学期）「AI時代の時事通信社の新しいビジネスモデル」
- DHC社「若年層のライフスタイルに合わせた化粧品新商品の提案と若年層顧客の購買率向上」
- 東急ホテルズ「次世代・自世代の新しいホテルの価値を考える」

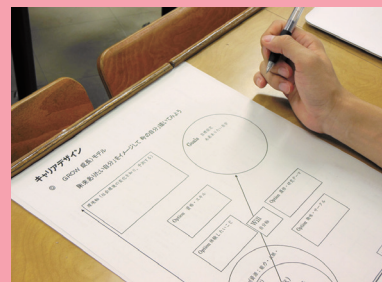
■講義の流れ（以下のフローを2回）

課題提示 → グループ活動 → 一次提案（プレゼン） → グループ活動 → 最終提案（プレゼン） → 振り返り

キャリア形成入門 [1・2年次開講科目]

自分なりのキャリアビジョンを描こう

本講義は、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。授業は各分野の経験豊かな講師陣によってオムニバス形式で展開され、キャリアプランの作成やビジネスマナーなど、一部実習形式も含んでいます。



特別講義

時代の要請に応じたテーマを学び考えよう

社会現場が直面する課題や情勢について多彩な授業形態による特別講義を開講することにより、独自の特色のある教育を展開しています。

授業回ごとに異なるゲスト講師を招く授業では、企業の経営者など普段関わることでできない社会の第一線で活躍する方々の生の声が聞け、最新の事例について学ぶことができます。また、英語により学ぶことができる授業やプロジェクト型学習の授業も開講しています。



「経営学特別講義A 学生のための社長学」
講義風景

※写真は2021年度実施例

■2022年度

基礎専門特別講義

- グローバリゼーションを考える
- グループワークによる企業活動の実体験および実際の企業が提示する重要課題の問題解決
- 金融リテラシーとライフデザイン
- Project Based Learning: Industry- Academia Collaboration Class
- 組織・地域を動かすマネジメント力とは：公共経営学版フューチャースキル講座

会計学特別講義

- 「会計」を理解して将来の選択肢を広げよう！
- 職業会計人になりたい人の税務基礎知識
- プロジェクト組織の管理会計～プロジェクト・マネジメント～
- 会計ルールを「読む」

経営学特別講義

- 学生のための社長学
- デジタルトランスフォーメーション（DX）時代の起業戦略
- 中小企業支援と実践
- Skills and Strategy for Negotiation (1)
- Skills and Strategy for Negotiation (2)

公共経営学特別講義

- 持続可能なスポーツビジネスの可能性-Jリーグを中心に
- 場、建物、空間から「公共性」を考える

※開講科目・テーマは年度により異なります。

SUPPORT 未来のために挑戦しよう



資格取得 検定料助成制度があります。

TOEIC® IP テスト

TOEFL ITP® テスト

TOEFL iBT® テスト※

IELTS™※

※ TOEFL iBT® テスト、IELTS™ の2検定中1人1検定のみ助成申請可能です。

各種外国語検定試験

ドイツ語(ゲーテ・ドイツ語検定)／フランス語(実用フランス語技能検定)／
中国語(中国語検定)／ロシア語(ロシア語能力検定)／韓国語(ハングル能力検定)

日商簿記検定試験

『蒼樹』発行

自分の手で論文を書いてみよう！

論文やレポートの作成には論理的思考力が必要です。1・2年次に開講している「レポート・論文作成法」は、講義を通して明快的な論理によって構成された文章を書く訓練ができます。4年次に提出する卒業論文制作への基礎づくりに役立つだけでなく、社会に出てからも応用可能な知の技術となります。履修学生が提出した課題論文の中で特に優れたものを集めて発行される「蒼樹」は、4月初めに1年生全員に配布され、「レポート・論文作成法」の授業でも使用されます。



『学生経営論集』発行

自分の書いた論文が、未来に残る冊子となり、未来の自分の糧となる

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。多くの学生が、個人単位、ゼミ等のグループ単位で応募し競い合っています。毎年100本以上の登録があり、入賞作品は「学生経営論集」として出版されます。



早期卒業制度

大学院進学希望者や国家試験受験者・合格者を主な対象として、優秀な成績を収めれば在学3年間で大学卒業、学士学位の取得ができる早期卒業制度を導入しています。

大学院授業履修の勧め

3年次以上の学生は、所定の条件を満たしていれば、大学院経営学研究科・専門職大学院がバナンス研究科／会計専門職研究科の科目を10～16単位を上限として履修することができます。少人数で深い学習ができるとともに、大学院進学の際には、その単位を修了要件に含めることができます。3年早期卒業制度とあわせることで、学士学位と修士学位の双方の取得が5年で可能となります。

また、大学院経営学研究科において英語で行われる授業は、大学院経営学研究科と経営学部の共同設置科目となっており、経営学部の科目として履修し修得した単位は、経営学部の卒業要件単位に算入されます。



<https://www.meiji.ac.jp/keiei/>



経営学部事務室

駿河台キャンパス

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 リバティタワー 5階
TEL: 03-3296-4194～5

和泉キャンパス

〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 第一校舎1階
TEL: 03-5300-1151～2